

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（112）」

2. 日時：令和2年7月29日（水）10時00分～12時11分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田安全審査専門職、菅谷技術研究調査官、宮脇技術研究調査官

北海道電力株式会社：藪執行役員 他11名（テレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙1及び別紙2のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・泊発電所3号炉 地盤（敷地の地質・地質構造）に関するコメント回答（Hm2 段丘堆積物の堆積年代に関する検討）

| 時間 | 自動文字起こし結果 |
|---------|---|
| 0:00:04 | 。 |
| 0:00:05 | 原子力規制庁の管理です。 |
| 0:00:09 | 泊発電所 3 号炉地盤に関するコメント回答ということで、ヒアリングを行いたいと思います。まず事業者さんのほうから資料の説明いただけますか。 |
| 0:00:26 | はい。北海道電力の松村です。本日よろしく願いいたします。本日は泊の地質に関しまして、せんだっての 4 月 8 日 21 日のヒアリングを踏まえまして、追加修正しましたので御説明しちゃったりしますよろしく願いいたします。 |
| 0:00:54 | はい。 |
| 0:00:58 | 北海道電力のセガワです。資料について御説明いたします。 |
| 0:01:03 | 20 ページをお願いいたします。 |
| 0:01:13 | 開削調査箇所を北側において、鉛直方向に連続的に火山灰分析を実施しております。6000 円といたしましては、11mし、それからS系の |
| 0:01:26 | 7 月 8 日ヒアリングを踏まえまして、地形A-e測線の改定、10 鉱物の施設営繕れん石を追加で実施してます 22 ページ、23 ページ見開きでお願いいたします。 |
| 0:01:44 | 23 ページにお示しますEL約 46m資料番号で言いますと 40 番、こちらで斜方輝石、角閃石の主成分分析を追加で実施しております。 |
| 0:01:58 | 資料番号案税 31 よりも下位の佐藤中ですでにくせえ設立測定を実施しており、最も斜方輝石の含有量が多いことから、こちらで追加実証しております。 |
| 0:02:12 | 24 ページ、25 ページをお願いいたします。 |
| 0:02:18 | 24 ページに斜方輝石の主元素組成 25 ページに角閃石の主元素組成をお示ししております。 |
| 0:02:27 | 赤の白抜きの四角で示しておりますのが低下しましたS経営のE-40 になります。 |
| 0:02:35 | 追加実施に伴います評価につきましては変更なく、M1 ユニットとM3 位にやっぱに明瞭な差異は認められません。 |
| 0:02:45 | 32 ページ 33 ページをお願いいたします。 |
| 0:02:55 | 安全 2 ページ、こちらは斜方輝石の主元素組成。 |
| 0:02:59 | 33 ページには、角閃石の主元素組成を加え開削調査箇所南側の結果、それから開削調査箇所北側の結果をあわせて表示しているんです。 |
| 0:03:11 | 今し方説明いたしましたSKA-2 の 40、こちらを追加でプロットしております。 |
| 0:03:18 | 超過につきましてはこれまでと変更はございません。 |
| 0:03:22 | 35 ページをお願いいたします。 |

| | |
|---------|---|
| 0:03:27 | こちらから2の2相開削調査箇所、南側に認められる斜面堆積物の検討にあります案16ページをお願いいたします。 |
| 0:03:41 | 今回まとめし、 |
| 0:03:43 | 本省のまとめの構成を変更しており、記載を適正化しております。 |
| 0:03:49 | 暗証へは |
| 0:03:52 | 黄色い箱の一番上の⑨からですが、4月16審査会合における指摘後指摘事項No.2からNo.8を踏まえ対策調査箇所南側に認められる斜面堆積物上位の森度Iの改正堆積物、 |
| 0:04:08 | を対象に逃走確認行い悪堆積物、森尾の特徴を38ページにリスト化します。 |
| 0:04:16 | 整理しました各堆積物、森尾の特徴に基づき、イエス単位にところが認められる南側壁面の愛護の理念、付近の詳細スケッチを作成いたしました。 |
| 0:04:30 | 詳細スケッチを示しましたストーク分の妥当性を確認するため、悪臭観察分析測定を実施しております。 |
| 0:04:38 | 39ページに表形式で整理しております。 |
| 0:04:42 | また、最後の理念現場付近に認められるES範囲について南側壁面のPS3ユニットとの連続性を開くにしております。 |
| 0:04:53 | 2-2章の表の章の結論を黄色矢印の黄色箱の下、青矢印の下になりますが、 |
| 0:05:02 | 詳細スケッチに示しましたNECにPS3ユニット森尾の地層区分は妥当であると判断されます。 |
| 0:05:12 | 家さんユニットは南側壁面から愛護の二名。 |
| 0:05:16 | 罰金記録限定しており、M1日当侵食する上載地層として適用できるものと判断される。 |
| 0:05:25 | 機械明日ペーパーまた7月8日にヒアリングを踏まえましてTS3ユニットがFHES2ユニットと同様な斜面堆積物と評価されるんですね、対しております。 |
| 0:05:39 | 黄色上の箱の下から二つ目の丸の文章でした。 |
| 0:05:44 | PSHAユニットESA入院或いはPS3一步と同様な特徴を有する劣化部は確認されないものの応答確認。 |
| 0:05:55 | 上記の悪臭観察分析において同様な特徴が多く認められることを踏まえると、S1からPS3以降は、いずれも旧海食崖付近という同一堆積場において、旧海食崖を訂正する。 |
| 0:06:11 | マンガン由来の堆積堆積物からなる斜面堆積ですとあんだつたります。 |
| 0:06:17 | できまして飛びまして93ページをお願いいたします。 |
| 0:06:33 | 93ページですが、2-2の1相地層区分の整理をしまして、南側壁面の愛護二名罰金の詳細スケッチ、こちらを以降のページにお示しております。 |

| | |
|---------|---|
| 0:06:47 | 前回ヒアリングで今後反映すべき内容として説明していたものの対応としまして、H2A部の分布範囲を練りいたしましたので御説明いたします。 |
| 0:06:59 | バグH2 整備の案を示した考え方を決定いたします。 |
| 0:07:04 | 上の色箱の下から二つ目の丸になります。 |
| 0:07:08 | SiO ₂ との下部に認められる遷移は 46 ページの各堆積物、森尾の特徴の整理結果に示す通り、 |
| 0:07:18 | シルトまじり砂であり、滞留から中流東あつちように分布またはシルトの履歴が認められるもので、 |
| 0:07:27 | このため詳細スケッチに示すES下げに行った後、以下の範囲を整備と認定し、汎用詳細付けに示しました。 |
| 0:07:38 | センイ部を確認しているはぎとり電車資料①から③などと同様、主にシルトまじり砂から成る下部。 |
| 0:07:47 | 及び主に駅までシルトまじり砂からなる東部が認められる範囲のうち、ノ5 銭予備としてスケッチにお示ししております。 |
| 0:07:58 | 104 ページ、105 ページ、見開きでお願いいたします。 |
| 0:08:08 | 104 ページ。 |
| 0:08:10 | 2-1 に一部に示します通り 105 ページは、側溝てつちやうと、右側壁面の案 1 Eのスケッチをお示しております。 |
| 0:08:21 | 先ほど御説明いたしましたAMの汎用示した考え方の通り凡例にあります通り変位部を隠蔽が混みでお示しております。 |
| 0:08:34 | 例えばですけれども、 |
| 0:08:37 | 浅部の詳細な相当につきましては、56 ページなどに示しておりますはぎとり検査資料悪性してる①取りて約 9.5m辺りで作成しておりますので、そちらで長短については、 |
| 0:08:52 | 確認できるものぱっと出ます。 |
| 0:08:54 | 119 ページをお願いいたします。 |
| 0:09:03 | はい。 |
| 0:09:08 | はい。 |
| 0:09:16 | こちらからは 2-2-3 所南側へ記名の連続性です。 |
| 0:09:23 | こちらも前回ヒアリングで今後反映する内容として説明していたので、PS3 ユニットの南側で記名の弁 6 弁について検討したのになります。 |
| 0:09:37 | 219 ページから 121 ページはまとめを示しております。 |
| 0:09:43 | 黄色箱の中ですが、何の一章、2-2-2 章において、 |
| 0:09:49 | 背後法面メンバー付近に認められる悪堆積物も利用の地層区分を行い、ノ構成を確認しております。 |

| | |
|---------|--|
| 0:09:58 | 当該範囲においては、M1 ユニット単位のM12 と侵食して堆積するPS3 ユニットもリードが連続していきます。 |
| 0:10:09 | 2-2 の探傷においては 1 億円の妥当性が確認された愛護の二名テーマ付近のYES単位について南側壁面の家さんユニットの連続性を確認いたしました。 |
| 0:10:25 | 検討内容につきましては、露頭写真とあわせて御説明いたします。 |
| 0:10:31 | 122 ページ、123 ページをお願いいたします。 |
| 0:10:40 | 122 ページには、露頭写真①ということで側溝設置後、右側壁面を束ね写真を掲載しております。 |
| 0:10:50 | 写真 1 は、右上にお示しております。 |
| 0:10:53 | 写真のNNW側が南壁面になります。 |
| 0:10:58 | 判例ですが、青破線が森どの底面オレンジの破線がPSさん言ったのね。 |
| 0:11:07 | でございます。 |
| 0:11:08 | 2-2-1 章、2-2-2 章で側溝設置後、国が壁面ではTSIニツタの規定等を連続して確認しております。 |
| 0:11:20 | またPS12 軒定年はI-M1 新田の容量侵食している状況、こちらも、例えばですけど、ば |
| 0:11:28 | よって 62 ページに示しますはぎとり検査資料②において確認しております。 |
| 0:11:36 | こちらの写真ではTSIニツタの特徴でありますシルトまじり砂のそうそう示す箇所シルトの履歴は異常の色のブロックが認められる場所、こちらを安いしてお示しております。 |
| 0:11:52 | 続きまして、224、225 ページをお願いいたします。 |
| 0:11:59 | こちらは露頭写真②ということで、南側壁面と先ほどの側溝設置後、右側壁面からの接合部、こちらを望んだものになりますと 224 が解釈線ありのまま 225 が解釈線なしのもの。 |
| 0:12:17 | 写真 1 は右上に示します通りです。 |
| 0:12:22 | 六甲設置後、海側平均南側壁面の接合部付近において、写真に示します通り、シルトまでですが、私立の履歴が認められております。 |
| 0:12:34 | 融和I-netユニットと。 |
| 0:12:38 | 目明瞭に異なる想像しますから、M1 ユニット区分され、またね。 |
| 0:12:45 | I-M1 日報侵食、侵食され侵食年が連続することから、南側へ記名のエンドくした分布が認められます。 |
| 0:12:55 | Yes3 ユニットは、当該範囲においてべきまでシルトまで率などで借り入れきたした。円礫及び床下大変できが認められ、南側へ決め電路ピッチパス |
| 0:13:09 | 226、227 ページ、見開きをお願いいたします。 |

| | |
|---------|--|
| 0:13:18 | こちらは露頭写真③ということで南側壁面を望んだものになりますと 226 が同じく解釈線ありましたが、下の 227 が解釈なしの浜部写真位置は右上にお示ししています。 |
| 0:13:34 | 南側って決めにおいて認められる範囲で斜面堆積物の特徴は写真に示します通りIO法面の研磨付近に認められる悪堆積物と同様の特徴が認められれば、 |
| 0:13:48 | A部は、 |
| 0:13:49 | あと退職を呈するシルトまじり砂でシルトの利益が認めて |
| 0:13:55 | 斜面堆積物、管轄退職を呈する駅までシルトまじり砂で。 |
| 0:14:02 | やっぱり劣化した円礫床下円礫が認められる。 |
| 0:14:08 | 228 ページ、229 ページをお願いいたします。 |
| 0:14:18 | こちらは露頭写真④ということで、先ほどの写真より少しSWがお示した写真になってございます。 |
| 0:14:28 | 南側壁面において範囲で斜面堆積物は連続した部分とが認められれば、 |
| 0:14:36 | 縁部はシルトまじり砂であること、シルトの履歴が認められることから、I-M1 ユニットと明瞭な相当の差異が認められ、そうそう境界は明瞭で、 |
| 0:14:50 | 斜面堆積物は 2 人劣化した円礫床下垂鉛できれば認められることから、変位部と相当の差異が認められるものの、東ソー協会は白破線の丸で囲んでいるのですが、 |
| 0:15:05 | 基本的に指向関係をであることから、稜では大ません。 |
| 0:15:11 | また、はぎとり権者資料ブロックし、採取試料の作成位置をこちらにお示しておりまして、 |
| 0:15:18 | 内容については後程御説明させていただきますが、現況の露頭 |
| 0:15:23 | それからブロック、 |
| 0:15:24 | それとあとはぎ取りでの整備の部分こちらをPPB方向でアップにしております。 |
| 0:15:30 | 232 ページ、233 ページお願いいたします。 |
| 0:15:40 | エリアでは南側壁面によってるコード測定を |
| 0:15:44 | 知念市しております。 |
| 0:15:50 | ヒアリングを踏まえまして、南側壁面でも追加で硬度測定を実施しております。 |
| 0:15:56 | 対象としましてはM12 と家さん森についてを特定を実施しておりまして、背後法面現場付近における硬度測定結果と比較を行い、応答確認によるストーク分の妥当性の確認しております。 |
| 0:16:14 | 6 ページは 233 ページにお示しております。 |
| 0:16:19 | 硬度測定の結果、 |

| | |
|---------|--|
| 0:16:21 | 表に示します。通り各堆積物も井戸において以下の特徴が認められます。 |
| 0:16:28 | 1 ユニットのリードは家さんいっばいに比べ値が小さい。 |
| 0:16:34 | MHIにっつと縁部は、 |
| 0:16:37 | IO法面天馬付近における報道姿勢の平均値と同様な値を示しております。 |
| 0:16:44 | 青やJCの下の黄色の箱の評価ですが、南側壁面において認められるN1 ユニットのTSIIにも井戸におけるコード測定結果は、 |
| 0:16:57 | 背後法面テーマ付近と同様であることから波が壁面における地層区分は妥当であると判断しております。 |
| 0:17:06 | また、2-2 の損傷、損傷の結論といたしまして、DF際につとは 1000mを 2a、 |
| 0:17:15 | 援護分で南側壁面から会合なり目へ吹き消え力分布しており、M1 日当侵食する上載地層として適用できるものと判断されます。 |
| 0:17:29 | 234 ページをお願いいたします。 |
| 0:17:39 | 次に、南側壁面の愛護法面天馬付近における追加調査結果を踏まえ、1 月 16 審査会合において提示しました。所小断層上端部付近の詳細観察をする目的で策定した。 |
| 0:17:54 | はぎとり転社資料へまへんエックス線CT画像を用いまして、TSIニッタのペケ方向における連続性を確認しております。下にa波が壁面におけるはぎとり権者資料ブロック試料の作成位置図を示しております。 |
| 0:18:14 | 左下に南側壁面の模式断面図をお示しております。 |
| 0:18:20 | まず、①のはぎとり権者試料採取時動向ということで、それらを現地調査。 |
| 0:18:27 | よりも以前に作成したはぎとり電車資料 2 枚確性下壁面にあります。 |
| 0:18:36 | 延長さにおいて提示したものが、 |
| 0:18:39 | 前面の |
| 0:18:41 | その後、別途作成したものが背面側となっております。 |
| 0:18:46 | そして②ということで、現地調査での露頭ということで、はぎとり電車試料採取時から約 2cmセットバックしたような位置が現地調査でやっぱ二体ナイトウました液面となっております。 |
| 0:19:01 | 5 ブロック試料を採取いたしまして、一部約 10cm程度へこんだようなPTA方向にアップしている状況。 |
| 0:19:11 | それから、延滞的に |
| 0:19:14 | 4 センチ程度ネットマークス社状況、それが現在の現況等ということで、断面全体の露頭の状況となっております。 |
| 0:19:24 | 236 ページ、237 ページをお願いいたします。 |
| 0:19:33 | こちらには |

| | |
|---------|---|
| 0:19:36 | 11月5日、現地調査に置いて帰るといたしましたはぎとり権者資料を掲載しております。 |
| 0:19:44 | こちらにつきましては4月16審査会合においてでした。看取り検査資料として、露頭観察における各堆積物も利用の状況、こちらを同様に確認されるものとなっております。 |
| 0:19:59 | Ma注入の上位にはシルトまじり砂で私立の履歴が認められる繊維部は認められません。 |
| 0:20:07 | 大分i-NECにちょっとように異なる等々を示すことから、加熱され逃走境界は明瞭別。 |
| 0:20:17 | AMの潮位には家単位にところが認められてきまでシルトまじり砂の等々を示し、 |
| 0:20:24 | ササキできました。円礫床下円礫が認められ、I-1001と相殺が認められるものの、 |
| 0:20:34 | 当協会は局所的に指向関係ようであることから、明瞭ではございません。 |
| 0:20:40 | 238ページ、239ページは、こちらのはぎとり資料は作成後、別途、 |
| 0:20:46 | 策定したものを掲載してございます。 |
| 0:20:50 | 来ます240ページ241ページをお願いいたします。 |
| 0:21:00 | こちらには病欠資料の作成いたしました研磨へんそれとAX線CT画像を掲載しております。 |
| 0:21:11 | 解釈選別が黄色の |
| 0:21:15 | この太い破線エラーがM121とサンエーとの相当層境界をお示しております。 |
| 0:21:23 | Lにつきましては、注釈しておりますが、 |
| 0:21:27 | 弁部の分布範囲については4月16審査会合以降に実施しました、南側壁面の背後法面へ付近における追加調査結果を踏まえ、 |
| 0:21:38 | 4月16審査会合治療において整理したものから見直しを行っております。 |
| 0:21:46 | Nへのアピール箱になりますが、 |
| 0:21:49 | 返えCT観察に地域がどう観察における早々協会M1ユニットとDF範囲の境界エラーの設定の着目点について記載しております。 |
| 0:22:01 | まへん観察におきましては、 |
| 0:22:05 | 太田がよい砂層、それとシルトまじり砂の境界部こちらで相双境界を設定し、 |
| 0:22:13 | しております。 |
| 0:22:15 | 次に、CPが観察におきましては、比較的低密度でだらだらと下見た目をしない場所。 |

| | |
|---------|---|
| 0:22:23 | それから、比較的高密度でざらざらとして認めではないかとの境界で、こちらに着目し設計しております。 |
| 0:22:33 | も変観察整形観察において決定しました創造協会は調和的であり等々確認による特徴と同様なものとなっております。 |
| 0:22:46 | 242 ページ以降にCT画像が前方向、それから 5 ページ以降のCT画像を停滞しておりまして、相当強化につきましては、同様な考えで連続的に分布していることを確認しております。 |
| 0:23:04 | 以上が 2 章の名になります。 |
| 0:23:08 | 続きまして 247 ページをお願いいたします。 |
| 0:23:21 | 暗証今日断層の影響範囲に関する検討で 248 ページをお願いいたします。 |
| 0:23:30 | あと 3 の 1 相小断層の影響範囲に関する検討開削調査箇所を北側になります。 |
| 0:23:39 | こちらでは指摘事項のNo.9 に反する回答をまとめております。 |
| 0:23:46 | 発行の中段ですが、4 月 16 審査会合における指摘を踏まえたデータ拡充の実施内容といたしまして、小断層上端部とEFにやっぱの関係を明確にするためのデータ拡充を目的とし、 |
| 0:24:01 | だから壁面波が壁面ともに於け強行に掘削を行い、露頭観察はざと意見書資料を用いての詳細観察を実施しております。 |
| 0:24:13 | 249 ページには、北側と南側壁面での確認状況を記載しております。 |
| 0:24:19 | 250 ページお願いいたします。 |
| 0:24:24 | はい。 |
| 0:24:27 | こちらは 3-1 章の結論を期待しているページでございます。青矢印の下の箱だけですが、 |
| 0:24:35 | 委託調査箇所北側に認められるF1 断層に関連する小断層の上端部は以下の状況から、DF2 ユニットより侵食されています。 |
| 0:24:47 | FH断層に関連する小断層はM1 になり、Aを与えており、F2 の底面直下まで顕著な減衰をすることなく連続てる。 |
| 0:24:58 | 小断層はBF2 ユニットに変位変形を与えていない。 |
| 0:25:04 | NHユニットの上限はEF新田に侵食されていて、 |
| 0:25:09 | このため、DF2 ユニットはF1 断層の活動性評価を行うことができる調査位置等と判断されます。 |
| 0:25:17 | 上載地層の堆積年代につきましては 4 章にペーパーねいたします。 |
| 0:25:23 | 154 ページをお願いいたします。 |
| 0:25:31 | こちらにはMHIユニットとDF新田相当協会へDFにEF2 ユニットの既定値設定な着眼点を |

| | |
|---------|---|
| 0:25:42 | 7月8日、ヒアリング時から治療に対しておりますが、今回記載を適正化しております。 |
| 0:25:49 | また、256ページ、257ページに南側壁面のはぎとり権者資料、こちらの写真も追加いたしまして、設定の着目点についてお示しております。 |
| 0:26:02 | 262ページをお願いいたします。 |
| 0:26:14 | 162ページにつきましては、北側壁面の成果はぎとり権者資料をお示しております、7月8日のヒアリングを踏まえまして、拡大写真③を追加で掲載しております。 |
| 0:26:29 | こちらは小断層帯、こちらの長短物品を示しております、せん断面、 |
| 0:26:36 | はぎとり資料においてせん断面がよく見える写真、こちらを掲載していただいて、 |
| 0:26:44 | 264ページをお願いいたします。 |
| 0:26:51 | こちらと同じく7月8日からヒアリングを踏まえまして、こちらのはぎとり権者資料で示します①で示します黒色の線コード、こちらの解釈を掲載しております。 |
| 0:27:07 | 黒色の線構造につきましては、EFにやっば中、 |
| 0:27:11 | 及びBF2ユニットの底面付近における局所的な構想は違いに起因する公正性な違いにあって、アンカ別アンカマンガンが沈着したものと判断されれば、 |
| 0:27:25 | 一つ目といたしまして、EFに密封あっちへ |
| 0:27:29 | F2の規定ナイフベネ分布しているというところで拡大写真①、②をエビデンスとしてお付けしております。 |
| 0:27:39 | また、DFにやっば中において、直線性が認められないということで266ページから267ページの壁面写真、こちらをエビデンスとして掲載させていただきます。 |
| 0:27:54 | 意味264ページ、こちらのはぎとり権者資料。 |
| 0:27:59 | についてですが、①の弁構造さかいにEFに行く途中の規定に灰が認められ、 |
| 0:28:10 | また、その行動に年構造は認められないということで、266ページに拡大写真③を掲載しております。 |
| 0:28:24 | また、当該コードはおペー高校への連続は認められないということで、234ページ。 |
| 0:28:32 | こちらのほうに、 |
| 0:28:36 | 170名いたし274ページ、こちらのほうに、昨年の現地調査や壁面写真を掲載しております。 |
| 0:28:49 | また、f1断層に関連する小断層帯と連続しないということで、264ページの拡大写真②をエビデンスへ掲載させていただいており、 |

| | |
|---------|---|
| 0:29:02 | このようなものと同様な黒色の線コードにつきましては、北側壁面のEF1 タニも認められております。 |
| 0:29:11 | 268 ページ、お願いいたします。 |
| 0:29:23 | それは開削調査箇所北側壁面をお示ししておりまして、拡大写真④に示します通り青破線がBF1 ユニットの例目になりますが、じゃあの基底面にも、先ほどの |
| 0:29:39 | 同様な黒色の線構造。 |
| 0:29:42 | 認められております。 |
| 0:29:45 | できまして 282 ページをお願いいたします。 |
| 0:30:00 | こちらも 1 月 8 日、ヒアリングを踏まえました対応となっております。 |
| 0:30:06 | こちらのはぎとり電車資料は、昨年の現地調査の壁面を伝え提携してあつたもので参考扱いで停滞したはぎとり者資料でございます。 |
| 0:30:18 | 医療の淘汰の良い砂の弁は並行よりは認められておりませんが、 |
| 0:30:25 | こちらの潮位に西側トレンドつける公用利が認められることから交付当該部につきましては、M1 につぶり 9 月。 |
| 0:30:34 | 右側のほうに写真③ということで、エビデンスの拡大写真掲載させていただいております。 |
| 0:30:43 | はいきます 284 ページをお願いいたします。 |
| 0:30:52 | こちらからは 2 章、腸断層の影響範囲に関する検討ということで、開削調査箇所、南側の検討になります。 |
| 0:31:02 | ページにはまとめを示しておりますが、こちらも前回ヒアリングで今後反映する内容としてね、御説明させていただいた内容になります。 |
| 0:31:15 | いろいろ発行の一つ目の丸ですが、2 章の検討の結果、 |
| 0:31:21 | 開削調査箇所南側において認められるES単位には |
| 0:31:25 | 南側壁面から愛護の二名、付近広く分布しており、NEC日当侵食する調査位置等として適用できるものと判断されます。 |
| 0:31:37 | 暗証におきましては、はぎとり検査資料を用いた地質構造の観察 |
| 0:31:43 | 6 試料を用いた研磨変換立ち寄り小断層上端別途イエス単位にとかの関係を明確にしました。 |
| 0:31:52 | 加えて、ブロック試料を用いたエックス線CT間GP稼働観察により当断層等DF単位に関係を奥行き方向にアップにしております。 |
| 0:32:04 | 委託調査場所南側で実施しました小断層上端における悪臭観察項目を表の通りまとめております。 |

| | |
|---------|--|
| 0:32:13 | 調査範囲といたしまして。はい、南側壁面では4月16審査会合以前の協建てて替えしましてはぎとり権者試料観察へまへん発エックス線CT稼働観察を実施しております。 |
| 0:32:30 | 4月16審査会合以降といたしましては、1000万円観察 |
| 0:32:35 | こちらを県4月16審査会合において、実施しました。縁において新たに面を作成し、観察を実施しております。 |
| 0:32:46 | できまして、海側壁面につきましては4月16審査会合以降にはぎとり権者試料観察を実施しております。 |
| 0:32:54 | 285ページに示します案一定でフリーてつてをフリーフレームを撤去いたしました。 |
| 0:33:02 | 右が壁面に認められる南側壁面に認められるF1断層に関連する小断層の走向方向のベンド部が認められることから、二つを実施しております。 |
| 0:33:13 | これらと1%と%で実施した観察項目検知しましては違ってるようやっぱのヒアリングで徹底させていただいておりますが、後程改めて説明させていただきます。 |
| 0:33:25 | 続きまして、286、287ページをお願いいたします。 |
| 0:33:35 | 286ページに核種観察の結果をお示しております。 |
| 0:33:41 | 287ページに挙げとり権者資料ブロック試料、 |
| 0:33:46 | 円協力をこれらの作成位置の関係がわかる図をお示しております。 |
| 0:33:51 | 289ページをお願いいたします。 |
| 0:33:59 | こちらにはS共同申し上げました各種観察に用いた資料を抜粋して掲載しております。 |
| 0:34:07 | 資料の作成準備開始しましては287ページの通り、はぎとり権者仕様確定いたしまして、テロップ資料を作成し、トピック方向にバックし延長のほうをやります。 |
| 0:34:23 | こちらの資料に示してます。総層境界、こちらの考え方につきましては、2-2の3相で徹底して、先ほど説明させていただきましたが、改めて御説明させていただきますと、はぎとり電車資料では、 |
| 0:34:39 | 安井で示します通り、AMの特徴であるシルトの履歴が認められています。 |
| 0:34:46 | 2ブロック試料のCT画像、こちらではNECユニットとイエスあPSIネットの相当層境界を境に密度差があらわれてございます。 |
| 0:35:00 | また小断層上端部の状況といたしまして、上載地層のPS3ユニット変位でのオペ協の関係。 |
| 0:35:10 | よく |
| 0:35:11 | につきまして、 |

| | |
|---------|---|
| 0:35:13 | 最も手前方向のはぎとり資料では小断層の上端部に繊維部は認められませんが、ブロック試料では変位が認められ、円筒の露頭では商談とかちよっと見にくい。 |
| 0:35:27 | それが継ぎ部が分布している状況、こちらが認められております。 |
| 0:35:33 | 悪臭観察の詳細につきましては後程承知潮流といたします。291 ページをお願いいたします。 |
| 0:35:45 | 200 ページ 1 ページですが、 |
| 0:35:48 | はぎとり権者資料編観察の結果、 |
| 0:35:52 | F1 断層に関連する小断層はM121 と 2 円変形を与えており、PS単一の機器定年直下まで延性することなく連続といたします。 |
| 0:36:04 | 小断層はPSIIに変位変形を与えておりません。 |
| 0:36:10 | 青柳市の下での発行損傷の結論別は挨拶調査場所南側に認められるF1 断層に関連する小断層の上端部は以下の状況から、PSIネットに侵食されております。 |
| 0:36:26 | 小断層はM1 に変位を与えており、イエス 31 の規定値直下まで減衰することなく連続する。 |
| 0:36:35 | 小断層はISIIになり、変位変形を与えていない。 |
| 0:36:40 | M1 ユニットの正面はTSIIに行ったり、侵食されている。 |
| 0:36:45 | このため、TSIIについては、F1 断層の活動性評価を行うことができる状態地層と判断されれば、 |
| 0:36:53 | 超タイトな堆積年代につきましては、4 章で御説明いたします。 |
| 0:36:59 | 292、200 ページ 3 ページ。 |
| 0:37:02 | お願いいたします。 |
| 0:37:06 | こちらでは南側壁面のはぎとり権者資料、1 月 15。 |
| 0:37:12 | 減少化において、実施したものになります。 |
| 0:37:16 | はぎとり権者資料におきまして、小断層／m位置にあり、変位を与えており、 |
| 0:37:23 | 3 ユニットの年ちよっとまで円断面が連続しております。 |
| 0:37:29 | オレンジ破線がPS3 一般の低下しました黄色破線が家さん一般ペネオレンジ破線が小断層になります。 |
| 0:37:40 | 小断層に見かけの鉛直変位量の減衰は認められます。 |
| 0:37:45 | 歳入当期丁寧に小断層による変位は認められます。 |
| 0:37:51 | TSIIに途中で剪断面は認められ、 |
| 0:37:55 | 内部につきましては、小断層の上端部には認められません。 |
| 0:38:01 | 294、295 ページには、資料作成後に別途作成いたしました揚取り権者資料掲載しております、こちらの資料と同様な状況を確認してございます。 |

| | |
|---------|--|
| 0:38:15 | 続きまして、296 ページをお願いいたします。 |
| 0:38:25 | 約 96 ページにつきましては、海側閉決めはぎとり権者資料。 |
| 0:38:31 | についてご説明いたします。 |
| 0:38:34 | 先ほど説明いたしますとおり、 |
| 0:38:37 | 右側低迷におきまして、下の図の範囲で示す範囲でフリーフレームを撤去しております。 |
| 0:38:45 | 南側の底面に認められるF1 断層に関連する小断層の走向方向の連続が認められることから、はぎとり権者資料を用いて詳細観察を実施しております。 |
| 0:38:57 | 301 ページをお願いいたします。 |
| 0:39:01 | 300 ページ 301 ページをお願いいたします。 |
| 0:39:08 | 何百ページに、はぎとり権者資料解釈線ありのもの案別置AD解釈線なしのものをお示しております。 |
| 0:39:17 | いろいろ発言があつて家際に規定ねオレンジ破線が小断層を示しております。 |
| 0:39:24 | ／はぎとり権者シェアにおいて、小断層はNNE. NETネットに栄養与えており、PSIIに7 基定年直下までせん断面が連絡します。 |
| 0:39:36 | 小断層に見かけ鉛直変位量の減衰は認められません。 |
| 0:39:41 | 再任の規定年に小断層による変位は認められません。 |
| 0:39:46 | TSIIにやっぱ注2 円断面は認められません。 |
| 0:39:51 | 大分小断層の上端には認められません。 |
| 0:39:56 | 302 ページ、303 ページに、長断層上端位の拡大写真を掲載しております。 |
| 0:40:06 | はぎとり電車資料につきましては、南側で決め国がイケメンで作成しております、こちらの2ヶ所、町断層の米を確認しているパパば |
| 0:40:18 | 来まして4 ページ 305 ページお願いいたします。 |
| 0:40:27 | 305 ページは、南側壁面はぎとり権者資料策定後の壁面においてブロック試料を採取し作成したもので4月16 審査会合において、時した研磨そちらをお示しております。 |
| 0:40:43 | オレンジ破線が東ソー協会を示しております、307 ページに解釈線なしのものを掲載してございます。 |
| 0:40:53 | 相当協会の根拠につきましては、E-2-3 署に先ほどご説明していただきました考えでこちらのほう創造協会 |
| 0:41:04 | を示しております。 |
| 0:41:06 | 黄色い箱の中ですが、本件前において以下の状況を確認しております。 |
| 0:41:12 | 小断層はM121 と2.4 っておりイエス単位にその規定の援助までせん断面が連続します。 |
| 0:41:21 | いえ、歳月の基底面に小断層による変位は認められません。 |

| | |
|---------|--|
| 0:41:26 | 伝いにやっぱ注 2 断面は認められません。 |
| 0:41:30 | 本部につきましては、小断層の両端に認められております。 |
| 0:41:36 | 308 ページ 309 ページをお願いいたします。 |
| 0:41:43 | はい。 |
| 0:41:44 | こちらは 7 月 16 審査会合以降昭子殿研磨編において新たに研磨面を確定しまして、あん冊行っております。 |
| 0:41:54 | さっき方向につきましては左下のほうにお示しております。 |
| 0:42:00 | こちらの |
| 0:42:01 | 308 ページを示します。そう協会、こちらの間の設定のポンプにつきましても、強度になるの 3 章で御説明いたしました販売に基づく営業倒壊の解釈をお示しております。 |
| 0:42:18 | こちらの研磨編においても、先ほど御説明しました。研磨検討同様に同じような状況を確認しております。 |
| 0:42:28 | 310 ページをお願いいたします。 |
| 0:42:36 | 何百 10 ページには、 |
| 0:42:38 | 得ません。 |
| 0:42:40 | 4 月 16 審査会合において提示した研磨目ではありますが、こちら研磨へん作成位置へのCTだと、こちらをあわせて最地しております。 |
| 0:42:51 | そうそう境界につきましては、祈りの参照で設定した根拠に持っていて、お示しております。 |
| 0:42:58 | ブロック試料を用いたCT画像観察の結果ですが、まへん観察の結果と調和的で、 |
| 0:43:05 | PSI日報注 2 円断面は認められない。 |
| 0:43:09 | TSIIに基底面に小断層による変位は認められない程度は小断層の上端に三つ、 |
| 0:43:18 | 安楽 12 ページから 315 ページにCTだと、こちらを複数断面をお示してございまして、東洋の状況を確認しております。 |
| 0:43:33 | できまして 316 ページ 317 ページをお願いいたします。 |
| 0:43:41 | これらは区南側壁面の配合の二名天馬付近に認められ小断層につきまして、前回ヒアリングを踏まえまして、小断層について整理してお示しております。 |
| 0:43:55 | 何百 17 ページに展開図と小断層を連続を示しております。 |
| 0:44:02 | 小断層につきましては、南側壁面に認められるF1 断層に関連する小断層等を高校に連絡するもので、ちょうど御説明させていただきました通り、各種観察に基づき評価を行っております。 |

| | |
|---------|---|
| 0:44:19 | 小断層帯、S/や広角な西上がりの逆断層、こちらにつきましては4月16審査会合4ページ説明済みのものあります。 |
| 0:44:31 | そして小断層しらばへ今回背後法面テーマ位の詳細観察で確認いたしました。欠けな |
| 0:44:40 | 東落ち正断層でして、いずれもTF3ユニットの関係といたしましては、TSIIにあり、変位変形を与えていないことを確認しております。 |
| 0:44:52 | 何百19ページをお願いいたします。 |
| 0:45:00 | 319ページには、 |
| 0:45:03 | 小断層Cの長短への拡大写真をお示しております。 |
| 0:45:09 | それを断層はNEC日暮里変位を与えており、ESRユニットの底面直下まで剪断面が連続します。 |
| 0:45:18 | 小断層に見かけ鉛直変位量の延性は認められません。 |
| 0:45:23 | 3位に例目に変位は認められません。 |
| 0:45:28 | 歳入途中に断面は認められますね。 |
| 0:45:31 | 以上より、小断層はEs際に1回に変位変形は与えていないと判断されます。 |
| 0:45:39 | 何百21ページをお願いいたします。 |
| 0:45:51 | 次に当初f1断層開削調査箇所付近に分布する堆積物のチップを区分f1断層の活動性評価密閉ポケットに |
| 0:46:01 | 330ページをお願いいたします。 |
| 0:46:12 | 330ページ。 |
| 0:46:15 | 言ってみては、ケースにおけるF1断層の活動性評価を実施するにあたり、 |
| 0:46:21 | 暗証において検討を実施いたしました開削調査箇所や側、南側において認められるF1断層に関連性小断層と上載地層の関係、PRAを改めてお示しております。 |
| 0:46:38 | また、拡張やっぱその代表柱状図に各地と各計装の地層区分ユニット区分をさせていただきます。 |
| 0:46:49 | 2AL1断層の活動性評価に用いる上載地層といいふうにPSIにその地層区分を示しております。 |
| 0:46:59 | 拡張した箇所EF日報につきましては、 |
| 0:47:03 | 1の場合は、五木への改正層に挟在する河成の堆積 |
| 0:47:09 | 2場合は、Hm3段丘堆積物別7に総代する過程の配布する。 |
| 0:47:16 | 3はHm3段丘堆積物、MIS9に増大する化製のパイプ、 |
| 0:47:22 | 委託調査箇所南側のYES単位につきましては、設置の場合、 |
| 0:47:28 | につきでの改正等に挟在する斜面堆積 |
| 0:47:32 | 次の場合、Hm3段丘堆積物何東大する斜面对策。 |

| | |
|---------|--|
| 0:47:39 | A3 の場合は、Hm3 段丘たち幾つレスキューに挟在する斜面堆積物ということでお示しております。 |
| 0:47:47 | 番目約 31 から 335 のエビデンスのほうにもユニット目を一括でいただいております。 |
| 0:47:55 | また、参考資料で掲載してますH当局のエビデンスのほうにも同様にMG1 止めたらを代表中央部に復帰してお示しております。 |
| 0:48:07 | 何百 36 ページ、337 ページをお願いいたします。 |
| 0:48:20 | ／F1 断層の活動性評価に当たりまして、暗証において検討しました開削調査箇所、 |
| 0:48:28 | 山側南側において認められるL1 断層に関連する小断層と上載地層の関係。 |
| 0:48:36 | こちらを 336 ページには一章の結論。 |
| 0:48:40 | 300 名 37 ページには、3-2 章の結論を改定しまして、 |
| 0:48:46 | 2F2 ユニットPSIにはF1 断層の活動性評価を行うことができる状態等であることを改めてお示しております。 |
| 0:48:58 | 338 ページ、お願いいたします。 |
| 0:49:06 | 何百 38 ページには、パッペースのF1 断層の活動性評価に関する検討結果を示しております、結論といたしましては、青矢印の下の箱ですが、いずれのケースにおいてもF1 断層は後期更新世以降の活動は認められないことから、 |
| 0:49:25 | 将来活動する可能性のある断層等ではないと評価されます。 |
| 0:49:32 | 以上が 4 章の説明になりまして、雨約 43 ページお願いいたします。 |
| 0:49:46 | 故障し影響が作用の影響に関する検討になります。 |
| 0:49:52 | 何百 52 ページをお願いいたします。 |
| 0:50:00 | 交渉につきましては、前回ヒアリングで口頭で御説明させていただきましたが、 |
| 0:50:06 | 周氷河作用の影響に関する検討後挨拶調査箇所を北側に認められる国ユニット全体の相当層、こちらに擾乱の影響の有無があるかって言って検討した内容について期待をかけてきております。 |
| 0:50:23 | また、開削調査箇所北側に認められるっていうふうにユニット、それから開削調査箇所南側の上載地層の前に、 |
| 0:50:32 | いやが選ば過去の表記で周氷河再編の影響を受けていないっていうことに関する説明性の向上といたしまして、今回交渉のほう対応隠れちゃっていただいております。 |
| 0:50:45 | あと、352 ページ、開削調査箇所が変わってございますか。 |
| 0:50:51 | 開削調査箇所北側に認められる。 |
| 0:50:54 | EFにっぱいについて、応答の観点。 |

| | |
|---------|---|
| 0:50:58 | 解析で地域活動層厚の観点から就業型への影響している状況の有無を確認しております。 |
| 0:51:06 | 結論といたしましては、一番下の色の箱ですが、 |
| 0:51:10 | 委託調査箇所北側に認められる河成の堆積物BF2 ユニットはセイヒョー型への影響を受けていないと判断されます。 |
| 0:51:19 | のエビデンスといたしまして、354 ページ、355 ページお願い |
| 0:51:30 | まず、東ソーの観点ですが、セイヒョーが採用等の影響が認められるか否かを確認してたね。開削調査箇所北側に認められるEDFに言っとNP-N1 と。 |
| 0:51:44 | EF日中の伊勢行動につきまして等々の再観察を行っております。 |
| 0:51:51 | 確認範囲につきましては 355 ページにお示しております。BCDEと合っております。 |
| 0:52:01 | 今回は案 1 とBにつきまして御説明させていただきます。 |
| 0:52:06 | 360 ページ 361 ページをお願いいたします。 |
| 0:52:15 | 360 ページには、 |
| 0:52:18 | IC、 |
| 0:52:20 | の状況写真をお示しております。 |
| 0:52:24 | ICは三つ開削調査箇所北側の南側の壁面へおりてマイナス 4m位。 |
| 0:52:32 | 認知する阿部 |
| 0:52:34 | 青破線で示してますのがDFにの規定ねえして、 |
| 0:52:38 | 緑枠の拡大写真を右側にお付けしておりますが、EF日本には堆積で 2 回の M1 日報侵食して織り込んだものと考えられる 7 のブロックが点在し、一部のブロックにおいては料理が認められております。 |
| 0:52:56 | 来まして 362 ページ簡略 63 ページお願いいたします。 |
| 0:53:07 | こちらには範囲D北側壁面の距離、2m付近の写真をお示しております。 |
| 0:53:16 | TPPに拡大写真をお示しております、 |
| 0:53:20 | A-1 取りに行ったと言えは 2 ユニットの境界がくさび状を呈する場所において、M1 タニ栄光よりが認められいなあれは認められません。 |
| 0:53:30 | 一度、354 ページに戻っていただきたいです。 |
| 0:53:44 | 資料が作用の影響につきまして青矢印の下に期待しております。 |
| 0:53:50 | DFにネット及びTFIに起きてないっていうのは、MH2 と解析値の堆積構造に見られは認められないことから、F2 にセイヒョーが対応の影響しさせる擾乱は認められません。 |
| 0:54:05 | NTTRIPとDFにネットの発表会が再上程する場所は宮田 198 のレビューを踏まえると、NECに栄光よりは見込められ堆積時の解析コードに乱れは認められないことから、 |

| | |
|---------|--|
| 0:54:20 | 周氷河対応に伴う貧乏入所ではありません。 |
| 0:54:24 | 364 ページ 365 ページをお願いいたします。 |
| 0:54:34 | 次に、I積極的終わっ庄同層厚の観点について示しております。 |
| 0:54:42 | 帳票型への影響させる状況の有無について確認するための調査結果を上色の箱で利子しております。 |
| 0:54:51 | 中段の箱ですが、 |
| 0:54:53 | 本調査箇所東部においてへの 1 ユニット止めた範囲の境界付近に明瞭な侵食年冬期の解体に伴う行くかをさせると浄化槽が認められなかったことから、MIS9 以前の改正層は一連の下位水準上昇に伴う堆積物です。 |
| 0:55:13 | 安楽亭 65 ページの距離呈 10 メートルより東側におきまして、現状で認められる上位の地層、 |
| 0:55:21 | あと、 |
| 0:55:22 | 上位の地層家さんとBF4 ですが、こちらの上面は標高 11m程度以上であることから、見つける直後の河成の堆積別堆積以降の評価において、中央部に認められるBF2 ユニットは地表から |
| 0:55:38 | タンクから 8m程度以上の深度に一致していたと考えられます。 |
| 0:55:43 | テープに認められるっていうふうにメリット秋ほど御説明いたしましたANSI場所ですが、建築系において、地表面から 3m未満の深度に設置しているものの、堆積時の解析コードに皆乱れは認められません。 |
| 0:56:01 | BF4 ユニットにおける火山灰分析の結果、洞爺SPFa湾バー認められないことから、体制表記の周氷河対応による擾乱を受けたことを示唆する状況は認められて、 |
| 0:56:15 | 明日の黄色い箱周氷河性への影響についてですが、本調査箇所の整備及び中央部に認められるEF2 ユニットは一連の改正順上昇に伴い堆積した一基いつ切れの改正層に挟在することから当期の堆積物ではありません。 |
| 0:56:36 | 女川中央部に認められるBF2 ユニットはにつき癒着のあっせん販売席で使い以降の評価においては、地表から 3 から 8m程度以上の深度日中評型への影響を受ける概ね 2 から 3m程度に位置してません。 |
| 0:56:54 | なおDF4 ユニットにおける火山灰分析結果体系表記の就業が作用による擾乱を受けたことをおっしゃってるとは認められません。 |
| 0:57:04 | EF容疑は延期標高早々からF1 断層開削調査箇所においても分布してると判断されます。 |
| 0:57:14 | 続きまして 368 ページ 369 ページお願いいたします。 |
| 0:57:25 | こちらでは開削調査箇所南側認否とめられてる家さん 1 について、放送の観点解析値実機圧を層厚の観点から、周氷河作用の影響させる条件の上にペタニを行っております。 |

| | |
|---------|---|
| 0:57:42 | 青矢印ました結論ですが、いまだに誤記がございまして、 |
| 0:57:47 | はい、調査の北側の結果が期待されておりますが、指定を待っていただきますと、開削調査箇所波側に認められる斜面堆積物っていえ3ユニットは周氷河作用の影響を受けていないと判断されます。 |
| 0:58:04 | エビデンスにつきまして371ページ、お願いいたします。 |
| 0:58:13 | 371ページに相双の観点。 |
| 0:58:17 | をいたしまして、昼食休憩等が作用の影響が認められるか否かっぱを確認するため、イエス安易に |
| 0:58:25 | TSIの時定年の雨1NPって等々の再観察行っております。 |
| 0:58:31 | こちらにつきましては、前回ヒアリング資料で掲載しております。めく72%で3の写真を示しております、記載の適正化を実施した場所になります。 |
| 0:58:44 | 親でし直した別が生協型への影響といたしましては、PS3ユニットPS3いつとき底面付近のM1堆積時の解析コードに乱れは認められないことから、 |
| 0:58:58 | BS3ユニット2周氷河作用の影響を示唆する擾乱は認められません。 |
| 0:59:05 | 372370万に |
| 0:59:09 | 底面の写真をお示しております。 |
| 0:59:13 | できまして374ページ375ページお願いいたします。 |
| 0:59:21 | 開削調査箇所南側の堆積時期、活動総枠の観点から終了型への影響を示唆する状況のみ確認された眼層区分の検討結果火山灰分析の結果を整理いたしました。 |
| 0:59:37 | 本調査箇所においては、以下の理由から、F1ヶ所同様標高54mまでNEC2とL31/感知の上位にBF4ユニットが転倒していたものと、一定されます。 |
| 0:59:53 | 短絡75ページの代表通常月 |
| 0:59:56 | をあわせてご覧いただきたいと思いますが、 |
| 0:59:59 | F1断層開削調査箇所と開削調査箇所南は金融設置いたしまして、同一地形上に位置します。 |
| 1:00:09 | 来まして376ページへセガワば、 |
| 1:00:14 | 不得手後開削調査箇所と開削調査箇所、南側の背後には経営海食崖いう海食崖がうんち統一堆積場です。 |
| 1:00:25 | 何百75ページに戻っていただきまして、 |
| 1:00:30 | F1out開削調査箇所には、 |
| 1:00:34 | 1ユニット止め3ユニットがどうこうやって14mまで認められ、上位にBF4ユニットが認められます。 |
| 1:00:45 | この推定に加えまして、PS3位には線表を |

| | |
|---------|---|
| 1:00:50 | 握手観察分析の結果／Iな斜面堆積物と同様な性状を有していることを踏まえ ますとMIS9 以前の改正層に挟在する斜面堆積物に区分されます。 |
| 1:01:04 | 見つけ切れの場合清掃は開削調査箇所、北側の状況から、一連のパイ政権 上昇に伴う堆積物、 |
| 1:01:13 | でございます。 |
| 1:01:15 | 本調査箇所の改変前のベンチ地形、こちらにつきましては、凡例 77 ページに お示しております通り、 |
| 1:01:24 | 約 |
| 1:01:25 | から 15m程度改変により晶出しております。 |
| 1:01:32 | 何百 74 ページに戻っていただきまして、 |
| 1:01:36 | 祭日中における火山灰分析の結果ですが、洞爺SPFa湾は認められません。 |
| 1:01:44 | 中段の箱でございますが、 |
| 1:01:48 | 375 ページの緑 1 でお示しております通りSK直後の河成の堆積別。 |
| 1:01:56 | 移籍以降の評価やってまして。 |
| 1:01:58 | BS3 位には地表から 5m程度の深度に位置していたものと推定される。 |
| 1:02:06 | 青矢印一番下の箱、中評型への影響を行って、 |
| 1:02:11 | 結論ですが、TSIネットは 1. の下位水準上昇に伴い堆積した水受け入れのI 清掃に挟在することから、当期の相手先別ではやっばいませぬ。 |
| 1:02:24 | 実際にやっばの潮位には改変前においていつ系での改正層の上位にEF向け にとか標高 56mまで分布していたものと推定されることから、MIS9 直後の河 成の堆積物堆積以降の長期においては、 |
| 1:02:41 | TSINIPPO地表から 5m程度の進路に位置し、周氷河性への影響を受ける概 ね 2 から 3m程度の位置に位置していないものと決定され、 |
| 1:02:54 | 債新田における火山灰分析の結果をやSPFやっばんが見込められないこと から、石井表記の周氷河作用による擾乱を受けたことをしたプール状況は認 められません。 |
| 1:03:08 | 辛いにつきましては、 |
| 1:03:10 | 以上でございます。 |
| 1:03:14 | 説明ありがとうございました。 |
| 1:03:17 | 質疑に移るんですけど、まず最初に確認したんですけど。 |
| 1:03:22 | 今回、前回資料から 70 ページぐらい以降増えている。 |
| 1:03:26 | わけなんですけど、この内容としては今聞く限りにおいては評価ですね、ロジッ クというものはこれまでと同様でもう新しく何かを評価を加えたという |

| | |
|---------|--|
| 1:03:41 | ものではないということですか。もちろんその種晶小断層をちょっと今まで明確に書いてなかった小断層の評価を加えたり集氷河期のその観点で、資料加えたりはしてると思うんですけど。 |
| 1:03:56 | そのほか何かこの辺は新しいデータで何か評価をしてるんだっていうのがあったら、 |
| 1:04:02 | それどこから教えていただきたいんですけど。 |
| 1:04:09 | 北海道電力の渡辺です。今回データを拡充してございますけれども前回から評価自体を改めたといったようなものは基本ございません。 |
| 1:04:21 | はい、確認できましたはtonん。 |
| 1:04:25 | なんて言うんですかねそのエビデンスを充実化させたり、説明口頭で説明してたのが資料になったということだと思うんですけど。 |
| 1:04:33 | できればですねこういった資料をちゃんとそろえてから、最初のヒアリングは100 ページぐらい増えてると思うんですけど、この辺準備をしっかりとしてからヒアリングができればよかったかなと思います。 |
| 1:04:48 | それで、私のほうからちょっと確認させていただきます。まずですね |
| 1:04:55 | 各スケッチでここまでも聞いてセグ方明確化したということで、 |
| 1:05:02 | 大丈夫です。今のところ、 |
| 1:05:12 | 大丈夫ですよ。聞こえております。 |
| 1:05:15 | はい。 |
| 1:05:16 | 戦略部されますけれども、 |
| 1:05:22 | はい。 |
| 1:05:26 | はい。 |
| 1:05:27 | 。 |
| 1:05:54 | すみません。聞こえますか。 |
| 1:05:59 | はい、聞こえております。 |
| 1:06:03 | はい、鉄塔整備のほうに置こう明示されたということなんですけど、この明示した範囲で前はざっくりと書かれてたんですけど、今回はちょっと細かく書いてる中ではっきりとして変わってるんですか、変わってないんですか。 |
| 1:06:19 | 細部の範囲ですね。 |
| 1:06:29 | 北海道電力の渡辺です。7月8日に提示させていただいたタニなどでかぎ括弧のような形で記載したのから若干変わってる部分がございます。 |
| 1:06:41 | 例えば123 ページをご覧いただいてよろしいでしょうか。 |
| 1:06:53 | 123 ページの距離ページ0 メーターぐらいの辺り。 |
| 1:06:57 | この辺りにねらうとグリーンシルトまじり砂の層がありまして、お願いよりも左側の下のほうに、 |

| | |
|---------|---|
| 1:07:04 | 日括弧の端部を前回入れているという形にしてございました。この辺りを今回明確化するにあたって、 |
| 1:07:13 | 約款取り止めたといえますか距離呈リーク等、 |
| 1:07:16 | 0.3 メーターぐらいのところに振っているということにしております。この考え方としましては、そもそもの認定の考え方を改めて整理したことに起因しているんですけども。 |
| 1:07:32 | 93 ページの方すいませんお願いします。 |
| 1:07:44 | 先ほどご説明の中でもくれたんですけども、認定の考え方としまして、上の囲みの中の下から二つ目の丸に始まります。 |
| 1:07:53 | Yes3 ユニットの基本下部に認められるセーブというものは、特徴を整理堆積物の特徴を整理した結果としましてシルトまじり砂であって伝えるから中流左岸パッチ状にポンプまたはシルトの履歴が認められるという特徴を呈してま |
| 1:08:10 | す。 このため紹介スケッチ上どういふうにくくっていくかという考え方の下に見えるんですけども、まず制度をはっきりと確認しているはぎとり電車資料 1 から 3 などがあるんですけどもこれらは、 |
| 1:08:22 | 層位関係といえますか、主にまずシルトまじり砂から成る下部をこの上に思い入れきまじりシルトまじり砂からなる重複の上部のtsrの本体というような言い方になってくと思うんですけども、言ったセットが認められる範囲の近くに存在して、 |
| 1:08:40 | やはり泉北今回認定するにあたっては同様な |
| 1:08:44 | 半径が見て取れる部分、ここ多く来るべきであろうというふうにご覧させていただきます。 |
| 1:08:49 | お金スポーツ 123 ページでいきますと、上にはっきりとしたれきまじりシルトまじり砂をここで言うと濃い緑色、これがあっても下にシルトまじり砂名ラドグリーンが要る関係の関係がはっきり見てとれるところまで送っている。 |
| 1:09:07 | 距離呈 0mのところあたりにもうシルトまじり砂があるんですけども、これは全体傾向として見ていただいた場合に、主要な早々としては駅まじりシルトまじり砂だと言ってその中にシルトまじり砂が |
| 1:09:24 | 織り込まれているというような形で主な構成層としてはれきまじりシルトまじりですか。 |
| 1:09:30 | こういう考え方一方ははっきりと上下関係れきまじりシルトまじり砂をもしタニ主な構成としてシルトまじり砂があるという関係ではないというところでA部の認定からは取り止めたというふうになってございます。 |

| | |
|---------|--|
| 1:09:45 | また正しいというところなんですけど、この詳細スケッチ上で細かく整備を認定するには、スケッチの縮尺というものがありますので、やはり限界があるというふうに考えてございます。内としてはどういうところかといいますと、 |
| 1:10:00 | 詳細に六法見ていくと、れきまじりシルトまじり砂の会議を置く薄くシルトまじり砂の層が存在しているという場所も当然ございますけれども、そういったものはスケッチ上に、そのシルトまじり砂をこれそして来ることが縮尺の関係が難しい。 |
| 1:10:16 | そういった部分に関しては今回のスケッチに表記するという意味合いでは割愛をしているというのが基本的な考えです。 |
| 1:10:23 | 以上です。 |
| 1:10:25 | ありがとうございました。です。ちょっとよくわからないのがね。そうそう境界は明瞭に判断できるっていうことになっていたと思うんですけどそういう説明をどっかでされると思うんですけど、今回ちょっと認定のなんていうんですかね。 |
| 1:10:42 | 根拠を少し認定するご境界の条件というのを変えたっていいですか。 |
| 1:10:51 | 北海道電力の渡辺です。そうですね、やはりスケッチ、このスケッチ上に明確にくるとなるとスケッチ上で括った理由がわからなければならないというふうに考えてございまして、そう丸っぽのスケッチの縮尺上明確に好み濃い緑と。 |
| 1:11:10 | 名られるところに、このセットの関係が見てとれる範囲のその下送るというふうに考えを改めております。 |
| 1:11:21 | はい。ZOIとはちょっと変えたということでは事実関係を確認しました。 |
| 1:11:29 | コア等ですね。 |
| 1:11:34 | 結局のところ、ちょっと資料を見て |
| 1:11:39 | 結局南側PSって、上載地層に使えるの年代なんだというところっていうのは、 |
| 1:11:49 | 結局何を根拠にこれは古い地層だって言ってるのかというのをもう1回ちょっと簡単に教えてもらっていいですか。 |
| 1:11:58 | はい、北海道電力の渡辺です。こちらのPS3の年代間については、上位の地層が消失してしまっているというところがまず推定を一つ欠けております推定にあたって依拠しているのが、直近のすぐ近くにある旧F1開削調査箇所、 |
| 1:12:16 | ここに認められている改正堆積物の分布書庫さらにその上位の河成の堆積物の分布標高これの一つ着目してます。これら等同様な環境であるのかどうかというところが一つ着目点になってくるんですけども、開削南F1開削箇所いずれも、 |
| 1:12:33 | すぐ背後に旧海食崖を抱えているという、堆積場として共通しているというふうに考えております。 |

| | |
|---------|--|
| 1:12:40 | また、地形二名を引きますと、Hm2 面とHm3 名の間に位置する緩斜面上に位置していくと、地形的類似性もあると、このように考えてございます。こういった環境から改変前の当時昔においては、F1 開削箇所と同様な標高まで海の堆積物がたまっていたんだ。 |
| 1:13:00 | ただそれだけですと、推定の域を出ませんので、このTSIユニット自体がその会で明らかに改正堆積挟まっているPS1 に当特徴的に類似することが大事だというふうに考えております。そう関係観点、それだけではやはり不足しますので、 |
| 1:13:18 | 定量的評価位最高層の確認というものを当然重要になってくるということでデータを拡充しております、例えば薄片観察 |
| 1:13:26 | これですとか、どう火山灰分析駅収益の形状調査そういったところも類似点をもって、やはり同じ堆積物であろうと、先ほど述べたついでとの組み合わせから時代間としても同一時代の堆積物だとこのように判断してございます。 |
| 1:13:46 | はい、ありがとうございます。 |
| 1:13:49 | またから旧地形とかも関係を踏まえて、下がTS1、 |
| 1:13:56 | 踏まえた上で、T層槽に関してはTS1 とかTsにとかも類似性を持って、これは |
| 1:14:05 | 金時代感を示しているということをしましたけれども、面白いですね、プランとTS1 棟規制っていうのは全くここですけど、こちらのその特徴から、 |
| 1:14:25 | この方向であると思うんですけども、大きく長です成因はなし。 |
| 1:14:42 | 特徴も変わるんじゃないかと思うんですけど、その2点ちょっと。 |
| 1:14:50 | のところしかなかったと思うんですけども、特徴をここにもありませんと。 |
| 1:15:03 | はい。 |
| 1:15:07 | 北海道電力の渡辺です。46 ページのほうに、 |
| 1:15:25 | 話し続けてもよろしい。はい。 |
| 1:15:28 | 46 ページのほうにそうそう確認に基づく特徴の整理結果を記載させていただいております。 |
| 1:15:35 | ここで似てる似てないを色分けしているものになっているんですけども、Ts-12 というユニットに目を向けていただきますと、突風するものというのが朱書き起こし違うなというものを黒書きとしてございます。 |
| 1:15:49 | 中で、 |
| 1:15:50 | 大分PSさんと同様な成分が確認されないということ以外の意見としましては、例えばPSと1 ユニット二名を受けていただきますと、こちらアンカ退職を呈する抽出まとまっております、 |
| 1:16:06 | どちらかというTs湾は基質が近いというよりも、 |

| | |
|---------|--|
| 1:16:11 | すみません、歴がPS3 に比べると多いできがちなユニットを組成していると、具体的に写真をお示ししますと、 |
| 1:16:28 | 90 ページ、ちょっと 1 ページをお願いします。 |
| 1:16:39 | これPS版小規模なものになるんですけども、PS3 とか 2 と比べてやはり履歴ができがちだユニットとなっていて、最も関係どうしてこうなのかというのは落としたり規模の問題、DF案というのが非常に小規模な 2 となりますので、直接崖から |
| 1:16:56 | そのままかかってきて動作とたまったというようなイメージなのかと思うんですけども若干早々がTsわんとPS関東は異なるかなといったところも相違点として挙げられます。 |
| 1:17:18 | はい、はい。 |
| 1:17:31 | ちょっとですね、そういうなんていう使わない小さいところがなんのかとこういのは、 |
| 1:17:39 | なんかはもうあまり資料上明確じゃないのかなって 36 ページですか 36 ページで同様な特徴が書いてるだけだと思うんですけど、例えば今も早々の違い系。 |
| 1:17:54 | 今後の測定がPSさんだけ出て行っていないというのは、ボーリングですかっという事実関係をけども芝居ふうには考えてるんですか考えてないですか。 |
| 1:18:18 | はい。 |
| 1:18:19 | はい。 |
| 1:18:23 | 。 |
| 1:18:51 | 北海道電力の渡辺です。TS1 に関しては、瓦れきがちというところで不検出値としてなかなかうまくとれないというところがあるので、やはりそこは違いとして出てるんじゃないかと思っておりますPSIにも、 |
| 1:19:06 | Yes湾に比べれば、昨日割合が落ちるんですけども。 |
| 1:19:11 | 今現状やっていない。なかなか難しい部分もあるんですけど。 |
| 1:19:15 | うんそこまでのやって、 |
| 1:19:33 | とにかくこれフィードするような場ではないので、 |
| 1:19:38 | まだお考えが今、はっきりしてなかったらそれでいいんで、今考えがあるんだったら効きますっていうところですよ。 |
| 1:19:47 | そこに関して明確な違いかどうかというところまで、 |
| 1:19:53 | 評価考えはしていなかったんですけども、まず所見の値を取り方としてうまく通れなさそうだといいところまででしたもう少し整理させていただきたいと思しますのでの考え方は、 |
| 1:20:04 | はい、タニです。 |

| | |
|---------|--|
| 1:20:07 | 適切な意図するけど、事実確認なんでねえとTSOが歴が小さいで規定を進めていけ取れなかったと判断しましたけど、PS通話なんでも言われたんです。 |
| 1:20:27 | 北海道電力の渡辺です。ですね。 |
| 1:20:30 | 比熱、 |
| 1:20:32 | トリーいずれも歴が入っているシルトまじり砂になってくるんですけども。 |
| 1:20:38 | 若干表記としまして等 46 ページすいませんもう一度戻っていただければと思うんですけども。 |
| 1:20:48 | リエスさんのほうの共用部のそうそうれきまじりシルトまじり砂これに対してTs-2のほうが歴史とシルトまじり砂ということでできるのが医療記者若干PS書類つつうのが多いと、その辺が影響してうまくとれてないのかなっていうところを今考えてございます。 |
| 1:21:12 | 。 |
| 1:21:13 | きちっとナイトウとして検討も時これで救出解いてないかとかミスだけを取れなかったという理解。 |
| 1:21:21 | 北海道電力の渡辺です。はい、試してはいるんですけども、やはりこう的に当たってしまうというか値として加入し健康貫入試験として当然基質をねらっていくんですけども、値としてなかなかN号とるときにうまくデータとして、 |
| 1:21:36 | 基本データとして扱えるものではないんじゃないかなというふうに考えた次第です。 |
| 1:21:41 | 規制庁の確認ですけどこれはN基ときに、基質にあたって、軟らかいところと利益にあたって片やことばらつきが大きかったらで使えないという判断をさせていくという理解ですか。 |
| 1:21:55 | 北海道電力の渡辺です。そういう考えでありますさした時にやっぱ手応えとして、 |
| 1:22:00 | おっきくなってるんですけど奥で明らかにできに当たっているとか、そういったところでN号取ったときにデータセットとして不十分なんじゃないかと考えておりました。 |
| 1:22:15 | 既設のナイトウですけども、あとは |
| 1:22:19 | ほとんどだっということですか。 |
| 1:22:24 | 北海道電力の渡辺です。ディー・ディー・エスさんのようにちゃんとエルボでデータを整理して野鳥に記録したとかそういう段階には至っておりません。試し出しをしたという考えです。 |
| 1:22:35 | ／事実確認としてはやってみて、これは駄目だと思ってデータ取得まではいつてない現場で測ったはかったけど、データをきちんと整備記帳していく形まではやっていないということです。 |
| 1:22:51 | 北海道等のワタナベ電力のワタナベですはいそうなります。 |

| | |
|---------|--|
| 1:22:54 | はい。 |
| 1:22:57 | 無理としても変わりますと、理念等とそういう状況であれば多分べきが多いという話になったと思うんだけど、ね。TS12 の |
| 1:23:12 | 全体像が見える写真部がどこにも入ってないので資料上どっか言ってもらえませんか。 |
| 1:23:21 | 北海道電力のワタナベリスク露頭の全景で特にTBSにケース 1 に寄ったというような形で入れさせていただきます。 |
| 1:23:30 | はい、お願いします。76 ページとか下水意味の点者 1 ということでかなり近づいてたってこれディテールの部分でね、その上の部分はどうなってるのかっていうのが今おっしゃった写真だと、全体として指定から上のほうへ向かってこういうことか。 |
| 1:23:51 | 以上が試験とかっていうのが見えることがないって、 |
| 1:23:55 | そこはちょっと入れてもらえますかPS1 チームも重複するからあれぐらいしかわからない。北海道電力の渡辺です。高校はあれで終わりなんですけど、多分横っていう全体として納めたような写真があれば気分なのかなと思っ |
| 1:24:15 | ございません。こういったものを入れたいと思います。 |
| 1:24:19 | はい、そこはよろしくお願いします。 |
| 1:24:26 | 規制庁タニです。ちょっと私のほうは引き続きちょっと話変わらして、 |
| 1:24:35 | 316 ページで、 |
| 1:24:39 | 南側海面の |
| 1:24:41 | 壁面の廃校法面天端付近においてもらえる小断層ということで、新しく開削した中で御三本小断層水みち見つけてって、 |
| 1:24:52 | ところの |
| 1:24:57 | PSRに変位変形を与えていないというのを評価してるんですけど、これもちょっと位置付けというのを、 |
| 1:25:03 | もうちょっとはっきりする聞かせて欲しいんですけど、これは、 |
| 1:25:08 | F1 断層の活動性評価を |
| 1:25:12 | 行う。 |
| 1:25:14 | 上の小断層と、要するにF1 断層と関連するもので考えてここでも活動性評価を行っているってということで、資料になってるんですか。 |
| 1:25:29 | 北海道電力の渡辺です。316 ページ三条の小断層示しておりまして、Aは南側壁面で衝突活動性を評価しているものと連続しているものになりますBとし、この位置付けについては、bar4 月 16 審査会合ですでに御説明済みのものになってきます。 |

| | |
|---------|--|
| 1:25:49 | こちらの位置付け、4月16日にどのように説明していたかといいますと、こちらのはぎとり権者資料を説明する中で、まず、このBの小断層というのは、基盤から続いてくるようなものではございません。 |
| 1:26:04 | こちらの小断層見かけ鉛直変位量1.5cm程度ある逆断層となっておりまして、そのときの違った16の解釈としましては、F1断層が活動した単位背後に旧海食崖が存在することから、局所的ば応力場の中で生成されたものでは |
| 1:26:22 | 広い意味ではテクニクスが一緒なので、F1に関連する小断層でしょうというような扱いをしまして、F1に関する商談とIF1活動性評価の一つのパートとして総合評価の中に入れていたということになっております。 |
| 1:26:38 | このCというものについても、 |
| 1:26:42 | 今、東落ちの正断層見かけ鉛直変位量1cmとなっておりますけれども扱いとしてはbと同じようなF1に関連する断層であろうと考えてございまして、こちらについても、F一応評価する上での調査位置等々、 |
| 1:26:58 | ピーエイさんとの関係性を明確にすべきものだというふうに考えております。 |
| 1:27:15 | だからについては、活動性評価に使うって、 |
| 1:27:23 | 規制庁タニです。 |
| 1:27:24 | いやについては活動性評価使って、BとCは同じ扱いで、前回会合で聞いているものが、の考えと変わってないということでもいいですね。 |
| 1:27:36 | はい、そうです。 |
| 1:27:38 | はい。 |
| 1:27:40 | はい、確認できました。 |
| 1:27:43 | 何かあとと思ったんでしょうか。 |
| 1:27:48 | どうですか。 |
| 1:27:50 | はい。 |
| 1:27:51 | PAR |
| 1:27:52 | はい。 |
| 1:27:54 | いいですか。 |
| 1:27:59 | じゃあ、 |
| 1:28:04 | きちんとですね、一つさっきちょっと話題になったPSつうの構造の測定の話なんですけど。 |
| 1:28:14 | 改めて |
| 1:28:17 | 被災ですが、盲判入ってるからとやりにくかったというふうにやってみたけど、 |
| 1:28:23 | これなかったということで、 |
| 1:28:26 | うん。 |
| 1:28:28 | 例えばさっきのデータがないという、6ページ |

| | |
|---------|---|
| 1:28:32 | はい。 |
| 1:28:34 | 刷新とこれPS普通ね。 |
| 1:28:41 | その離婚が完了と。 |
| 1:28:46 | はいかわからないんですけど、後ろに取り込んでいくかというものを |
| 1:28:51 | そういったところって結構利益も困りますという部分的には、 |
| 1:28:58 | 資料だと思いますが主体のようなところが見受けられるんですけども、 |
| 1:29:04 | そういったところもいろいろ試したけど、やっぱり難しかったということで、ちょっと念のための |
| 1:29:13 | 北海道電力の渡辺です。おっしゃる通り部分的に基質がちな部分は存在しているんですけども、またの貫入試験をする際に、大型の加入者である程度面が面積がございまして冊数年が、そういった観点でいくと、貫入するあたりがある程度平滑に |
| 1:29:31 | ならなければいけないと、この付近に地質が違うところが局所的にあったとしても例えば横に利益が起こってしまったり、はやが途中当たってしまったり、値として適正もの取れないとか、そういったものがございましたので、ここではデータとして整理することを |
| 1:29:48 | 一同取り止めてございます。今回のまず大命題としては、PSさんと森泥とM1また西武これらの差別化を図るところが駄目だとかと考えてございまして、そちらのほうのデータ拡充をまずはしたといったところになっております。 |
| 1:30:08 | はい、わかりました。 |
| 1:30:12 | はい。 |
| 1:30:14 | それとは設定という考えをまた気相の特徴ということで理解すれば 46 ページ (2) 整備されたのかなと思うんですが、 |
| 1:30:38 | 3 は、 |
| 1:30:42 | ある意味引きとかは確認が認められるという。 |
| 1:30:48 | 記載はあるんですけど。 |
| 1:30:50 | 弁閉できるわけですね、2 人か、或いは床下変えるべきってということで、 |
| 1:30:57 | これは歴史しかないわけじゃない、確認なり福利っぽいのが、写真とか見る限りはあるようにも見えるんですけども、これはちょっと写真の通報乗数に見えてくるわけで、 |
| 1:31:13 | 実際分かれできなかったってということでよろしいんでしょうか。例えばその、 |
| 1:31:20 | 写真できますと、 |
| 1:31:28 | わかりやすい。 |
| 1:31:32 | 224 ページとか、 |
| 1:31:41 | あとは、 |

| | |
|---------|---|
| 1:31:45 | はい。 |
| 1:31:46 | やっぱりも任されていくというもあるなど。 |
| 1:31:52 | 200 |
| 1:31:54 | 28 ページとかも風化はしてるけど、各ばってんですが、これは、 |
| 1:32:02 | こういった特徴っていうのは、 |
| 1:32:05 | いかがなんです。 |
| 1:32:16 | はい。 |
| 1:32:19 | 一番わかりやすいのに 124 ページに白い何かいかにも配ったやつなんです が、 |
| 1:32:30 | ほかにもいろいろちょっと書くかっていうのはちょっと見えるような写真では見 えていますので、その確認です。 |
| 1:32:37 | はい。 |
| 1:32:39 | 北海道電力のワタナベのおっしゃる通り、各歴も入ってございます。まず早々 確認するにあたって、代表的な期目はざっと傾斜資料に基づく確認を行ってご ざいまして、主な西暦としては、円礫が入っていると考えているんですけども。 |
| 1:32:57 | 中には角れき等まじっているのは確認してございます。ご指摘の通りだと思っ てございます。 |
| 1:33:02 | また参考になるんですけども。 |
| 1:33:06 | PS123 で歴史フレキの形状調査もやっております、206 ページのほうお願 いしてよろしいでしょうか。 |
| 1:33:23 | 260206 ページの右下のほうに縁までの累積頻度曲線載せてございます。こち らはN100 程度の資料をそれぞれのユニットからサンプリングして前の程度を 見たというものになっております。 |
| 1:33:38 | この中で、PS-3 ユニットと呼ばれるものが紫の三角形の凡例となっているも のでTs-1 ユニットというものが、四角形の凡例同じ紫です。 |
| 1:33:52 | Yes人とか紫の丸の凡例となっております。参考として赤で示しているの が、これが改正堆積物、M1 ユニットの規定できの前の程度を示してるものと なっております、まずイズミのものとはPS123 とも、 |
| 1:34:09 | Mの程度は悪いという状況。 |
| 1:34:11 | さらに先ほどご指摘TS1 が小規模だ直接から落ちてきたんじゃないかとお話 させていただきましたが入れて水中ユニットが四角の紫で最もMの程度がある ような状況、それを表してるんじゃないかと思っております。また参考でお示 してる久保になりますけども、こちらの黒が、 |
| 1:34:31 | 開削調査箇所東側で追加開削をした際に、改正堆積物にはまる斜面堆積物 を確認してございまして、4 月の審査会合でも御説明しているものになります |

| | |
|---------|--|
| | けども、こちらのレク収益の形状調査をやった際に、窓として黒で示す選任乗っかっています。 |
| 1:34:49 | 細かいとしては概ねPS3 これと同様な分布傾向特徴があるんじゃないかというふうに考えております。 |
| 1:35:00 | ありがとうございます。 |
| 1:35:02 | 今、御説明いただいた表でDSプールの効果がリスクを |
| 1:35:11 | この図を見るとありますか。 |
| 1:35:15 | 園田金融さんよりも、 |
| 1:35:19 | ということがありますか。 |
| 1:35:23 | 北海道電力のワタナベ図の右側に転貸傾向としてシフトしてる方がM&が高いというような形となってきます海の堆積物、赤で書かれている規定歴が並行として全体的に右側に寄っていますけどもこれが窓の最も高い海の堆積物、 |
| 1:35:40 | 左にレポートシフトしていくことを窓が下がっていくといったものを表してございます。 |
| 1:35:46 | それ斜面堆積物の中で見ると、PS-2 ユニットが若干円が若干良いといえますか、同じTSLと中でもばらつきはあるんですけども、全体の傾向として海より総じて窓は低い左側に位置しているといったものを表しております。 |
| 1:36:07 | もういった観点でそのさっきの 46 ページの表見ると、 |
| 1:36:12 | どちらかというPS2 の報告はなかなか空隙が多いようなことが特徴。 |
| 1:36:18 | この表だけ見る限りは、フレキが目立つようなもので、 |
| 1:36:25 | 3、3月の前に、 |
| 1:36:29 | 特徴の違いは同じなのか違うのかちょっとわからないんですが、今、 |
| 1:36:44 | はい。 |
| 1:36:51 | 北海道電力の渡辺です。この辺の影響の差異としましては、まず 46 ページ示しておる整理表っていうのが、冒頭壁面を見て、全体の特徴として整備したというものになってございます。先ほど私が申し上げた。 |
| 1:37:07 | 貴重歴の形状調査への 100 程度をとっているんですけども、サンプリングの考え方としてある大きさの歴のみをこれだけで抽出するということを行ってございますので、その辺の災害若干出てるというふうに考えております。 |
| 1:37:26 | はい。資料の表記がわかりました。 |
| 1:37:30 | あと持ってるだけなんですけど、やっぱちょっとこれも資料の |
| 1:37:35 | タニのちょっと見方なんですけど、228 ページをお願いします。 |
| 1:37:41 | またカイダです。 |
| 1:37:46 | 刷新えっと、これが南側の壁面で 228 万 8000 回決定 129 か線が入っていないんですが、 |

| | |
|---------|--|
| 1:37:57 | 228 ページのほうで断層が |
| 1:38:02 | 場所があると思うんですが、 |
| 1:38:07 | あるんであれば、 |
| 1:38:14 | その 3 説明ということではあるけど、 |
| 1:38:24 | 北海道電力の渡辺です。228 ページの現況露頭に注釈戦闘入れているものあるんですけども、写真の右下、右側の下のほうにオレンジの矢視レク一覧等に関連する小断層というふうに記載をさせていただいております。 |
| 1:38:43 | この小断層の右側しへこんでる部分がございますんですけども、これ 4 月 16 の審査会合で提示した報告以降この写真の中でモルタルを含むものが若干もう顔を出してきてしまっているような状況写真を決定したかと思うんですけども。 |
| 1:38:59 | 思う騒動境界部で若干見られてしまって研究をこのような状態になってははっきり見づらい状態になってるんですけども、F1 断層に関連する小断層というものについては、今 228 ページに矢視をさせていただいております。 |
| 1:39:16 | そういうまずこれ、そこの矢印からこう上がっていても、今何か。 |
| 1:39:22 | ポコッと放り込んでしまったその日に入っちゃって、その先はもう今はもうここではないという、そういうなどで書いてないということで、 |
| 1:39:33 | よろしいでしょうか。 |
| 1:39:36 | 北海道電力の渡辺です。はい、おっしゃる通りで今国庫へこんでいるですね、左の副中央上がっていくような状況になってございまして、現況としてこの辺りがもうなかなかはっきり見てとれないという状況にはなっております。 |
| 1:39:50 | わかりました。 |
| 1:39:53 | 確認できましたので、ありがとうございます。 |
| 1:39:57 | しかし、 |
| 1:39:58 | はい。 |
| 1:39:59 | はい。 |
| 1:40:03 | 規制庁タニです。ちょっと今の 228 ページのおんなじ写真で私も確認したことがあって、これも里道っていう森どこへと水色の地質境界線より上ですけど、雨森ですね。 |
| 1:40:19 | 同様なんか。 |
| 1:40:21 | 褐色の |
| 1:40:23 | する区間とその上は下記の色のみりろがあると思うんですけど、この辺りを森等も同じものなんですか、どう考えてるか教えてください。 |
| 1:40:39 | 。 |

| | |
|---------|--|
| 1:40:47 | 北海道電力の渡辺です。すいませんこちら 229 ページに示してる写真を撮るときに、日本を当社社員に写真より綺麗に整形してるんですけども、森野も含めて、そのときの成型した。はい。 |
| 1:41:02 | 御協会に回路見え方が異なっているという部分になってございますので成型した部分が褐色に明定上の部分が少し大きく見えてるのは、生計をしている範囲としてないのと差が足んとして出てきてしまってるということになります。 |
| 1:41:18 | それともうのみなかったりですけど中身は一緒に、要するに削ってなんか閉めたところが出てるとかそういう違いだということですね。 |
| 1:41:30 | はい、そうですものとしてはすべて一緒ですものに関しましては、 |
| 1:41:34 | はい。 |
| 1:41:35 | あとですねさっき区画探せ桐谷 125 ページの真ん中辺りにあるこの白い。 |
| 1:41:42 | もうこれはもともとこの堆積物の中に入った歴っていうことで、それはいいですか。 |
| 1:41:49 | もうちょっと再確認ですけど。 |
| 1:42:17 | 北海道電力のワタナベですと由来は安全物ないんですけども、埋まっていたもののなのでオリジナルのものだというふうに考えております。 |
| 1:42:26 | はい、確認できました。 |
| 1:42:28 | あともう 1 回ちょっと細かい、細かい話で 228 ページでクサリ劣化した上でとまる駅の斜面堆積物の中にあるべき方向や資して説明いただいているんですけどね。 |
| 1:42:44 | 真ん中にこう黒っぽいこうちょっと大きめの。 |
| 1:42:49 | ものがあるんですけど、これもできなんですかこれ。 |
| 1:42:53 | 何か他とはちょっと違うようなものなんですか、教えてください。 |
| 1:43:13 | 北海道電力の渡辺です。こちらですね。 |
| 1:43:16 | 主と現場のほうから杭がきりが立ってまして、 |
| 1:43:21 | それを抜いた後になってございますはぎとり提唱し両方によって乾燥影響が出てるんですけども。 |
| 1:43:34 | 137 ページをお願いしておるんでしょうか。 |
| 1:43:45 | ラック 37 ページのはぎとり停車資料の縦のスケールバーのところていくと 90 度書いてある辺りを見よって言ったらかう使ったの |
| 1:43:55 | あっちの黒い跡みたいなのが見えてくるかと思うんですけども、縦のスケールのほうの 9 ページっていうところの右側です。 |
| 1:44:03 | それもおそらくこの方たち現場のほうから、この辺り施工とササキが打たれていて、それを抜いた後なんじゃないかなというふうに考えております。 |
| 1:44:23 | 本当にその斜面堆積物の間ですね。 |

| | |
|---------|--|
| 1:44:30 | 228 ページですよ。日本のページの資料の履歴っていった下の破線で円を変えてますよね。はい、どうも資料で言うと 1.5cmぐらい右上にあるちょっと黒っぽい |
| 1:44:46 | 赤い |
| 1:44:51 | そこの説明。 |
| 1:44:53 | つまり、 |
| 1:44:58 | 左上です。 |
| 1:44:59 | またシルトの履歴って丸が書いてあるのセンチぐらい左上です。 |
| 1:45:07 | 明らかにやはりべ。 |
| 1:45:18 | 言っちゃうと、 |
| 1:45:20 | 北海道電力の渡辺ですすみませんもう一度ご確認くださいけども、既ルートに着歴っていう破線の丸が混み書いてあるところの左上でよろしいでしょうか。そうですね。資料で 1cmぐらい左、はい。 |
| 1:45:35 | こちらが天端のほうから機能くいが打たれた後と考えておまして、同じ後が 237 ページのはぎとり停車資料。 |
| 1:45:47 | こちらで言うと、 |
| 1:45:49 | 横に置いてある競馬でいくと 7 過程においてあるスケールバーに東急さんも場所と噛み合ってたということで、 |
| 1:45:58 | 国の後だということで、御説明聞きました。 |
| 1:46:01 | ありがとうございます。 |
| 1:46:12 | はい。 |
| 1:46:28 | 前回の分岐たような気がするんだけど、この盛り込まらしいね森と思う。 |
| 1:46:38 | 実際に造成したときにどういうふうに思いとしたのかってことで書かせてもらったような気がするんだけど、確認なんですけども。だからこのウエートきりこつと後も来サーベイ 1 回整地をしてあげて、 |
| 1:46:53 | 平均前の表の部分を、そのあと上乘つけたという等設置をしているものと成長しているということでもいいですか。 |
| 1:47:05 | 北海道電力の渡辺です。すいません前回一般論として申し上げさせていただいてその後確認施工状況を改めて確認いたしました。ここの施行といたしましては、昭和 50 年代に 12 号炉の敷地を統制する際に、 |
| 1:47:23 | 標高約 51 メーター版で切り取りを行ってございます。 |
| 1:47:28 | その切り取りを行った餅になんですけれども、こちら開削調査箇所南側及びその背後の法面の天端付近においては、 |
| 1:47:39 | 表面の保護のためにモルタルステップモルタルの施工を実施してございます。 |

| | |
|---------|---|
| 1:47:45 | モルタルを施工するにあたって、仮置ヤードのほうに置いてありました掘削残土これを持ってきてモルタルを打つ前の切り取り地盤の不陸生成そのための式ならCを行っていて、その後、 |
| 1:48:01 | その上にステップモルタルを施工したというような施工手順を踏んでおります。ですので、無理度と考えているものは、 |
| 1:48:09 | 井島地盤の不陸精製をするために仮置ヤードに置いていた掘削残土これを盛り立てたものというふうに考えております。 |
| 1:48:21 | 特殊となりますけども、このやっぱり 229 ページとかで見るともリゾートといっているところの |
| 1:48:29 | 上のところに何か白っぽいものがあるかと。これは当時のものです。はい。こちらにつきましては、の理念のフリークリームを施工するにあたって、その前段階として設置している吹き付けコンクリートになります。 |
| 1:48:48 | 別の不足です。 |
| 1:48:52 | はい。 |
| 1:48:53 | そうするとこの |
| 1:48:59 | この森のところで系統運行でやったやつは、今使ってモルタルのやつは、今やつをPあれない。 |
| 1:49:22 | すみませんワタナベ違ってもう一度確認させてくださいモルタルの右上にある黒い口のことでしょうか。 |
| 1:49:32 | もうやられてここを設置する 51 円盤で設置位置に御それだけ設置しましたと聞いておりましたということで聞いてとった後も成長するにあたって、当期という番号 |
| 1:49:48 | まずはどうしてそのようにもいっばいつけ |
| 1:49:53 | したってということは持ってけど、 |
| 1:49:58 | そのあと何かいろいろお願いっていうだろう系統も、 |
| 1:50:10 | うん。 |
| 1:50:10 | 盛り込もう部長は現状あるけれども、上に吹きつけたボルトのやつについては現状、現場では見受けられないということです。 |
| 1:50:22 | 北海道電力の渡辺さんの今回の昨年から始まっている調査の関係で持ったりは意識撤去して、現状はございません。 |
| 1:50:30 | それで現場のこれよりも南のほうに行くと、まだモルタルが残ってる部分があるんですけど、その辺りよりも下側今回調査範囲については全部モルタルを撤去しております。 |
| 1:50:45 | 本操作、 |
| 1:50:51 | はい。 |

| | |
|---------|--|
| 1:50:52 | うん。 |
| 1:50:53 | どうぞ。 |
| 1:51:00 | 司書断層ですけども。 |
| 1:51:04 | 新しい |
| 1:51:11 | 今も |
| 1:51:16 | どんな仕事ですけども、別途思うたけ者とこれがけ面っていうか法面のところだと思っただけど。 |
| 1:51:24 | 上のほうの 11 円盤のところは、そうするとこれ今モックアップ等を含めた程度がワーッとそのあと東北しか仕方表土があるんだけれども、 |
| 1:51:41 | ここは本当はやってなかったという。 |
| 1:51:49 | そして、 |
| 1:52:07 | それを含めて、 |
| 1:52:09 | それゆえば |
| 1:52:12 | 考え構想経済的な消火性の |
| 1:52:16 | 定着させるため、 |
| 1:52:37 | はい。 |
| 1:52:39 | はい。 |
| 1:52:42 | こちら、 |
| 1:52:47 | かみ合っていないんじゃないですけど、これを |
| 1:52:50 | これは残ってるんですよ。 |
| 1:53:01 | ことで、 |
| 1:53:04 | 今日、 |
| 1:53:07 | はい。 |
| 1:53:19 | あってるわけですね、12 号機のとときの造成工事のときに 51 円盤をウェイ切り取りましたということですね。だからそのときに、皆さんも |
| 1:53:37 | で、51 億人ってねそこはやらすに至った掘削食うしたものを持ってきて持ってあげてそのあとをもち吹付しました。 |
| 1:53:50 | いう施工しましたということなんですよ。そうすると、ここのね、系統 220 億 227 ページで言うと、51 円盤でつきりとしたというところが、 |
| 1:54:03 | 解釈として言えば 3 面堆積物TSIユニットの上側の上側のところで、その上にもう 1 個があるというのはこれがワーク掘削した願望を持ってきたものと、 |
| 1:54:20 | で、右側のね、 |
| 1:54:24 | 写真の右上のところに苦労したと盛り込む起こしている間のところに白いモルタルっぽいものがそうなるんだけど、これが当時吹付をして思った。 |
| 1:54:36 | その理解。 |

| | |
|---------|--|
| 1:54:38 | すいません説明がごちゃごちゃ申し上げましたステップモルタルと言っているのか、この子たちも天端にある。 |
| 1:54:48 | 機器の様式コンクリートのようなものを行っております、ここに見えてるのは、 |
| 1:54:53 | 法面のほうの裏面にフリーフレームをそのあと施工しているんですけども、法面を施工する際に、このコラムを保護するために吹きつけた吹き付けコンクリートになってございまして、先ほど言っているステップモルタルとはまた別のものになってございます。ちょっとこの辺り、 |
| 1:55:10 | 説明がうまく説明できていないので、三島整理させていただきたいなと思います。 |
| 1:55:19 | 泊、 |
| 1:55:21 | 北国スペックをとろうと上に植生用のこれの収益が載った複製しているんだと。 |
| 1:55:31 | もうだけど通常だと、先ほどStepのたら全部剥がしましたと言っているんだけど、この部分ではどっかどこっていないんですか。 |
| 1:55:43 | また、当時の動線の状況を踏まえてもどうてそれが今回てるのかどうなのかっていうのは、これ見てとれることばっかしたいんですよ。 |
| 1:55:52 | はい。 |
| 1:56:25 | 北海道電力の渡辺です。すいません、ちょっと現状うまくこの写真を用いて説明することができないので、整理させていただいてよろしいでしょうか。 |
| 1:56:39 | 。 |
| 1:56:39 | はい、シズメ系統別に |
| 1:56:42 | 全部が全部そう構図まま残っているわけではないと思うというふうに言っているから、このところで、このところも含めて、当時の統制の状況が見たときの期間置かないのかということをご教えてもらえればと思います。 |
| 1:57:00 | はい、承知いたしました。 |
| 1:57:10 | 規制庁関連する方法。 |
| 1:57:12 | 引き続きですけど、ちょっと今回周氷河作用の影響ということでまとめられているんですけども、 |
| 1:57:23 | これ、 |
| 1:57:24 | 見ていくとですね最後の結論に、 |
| 1:57:27 | 近傍了承ありませんって書いてるんですけどその民法いうシオンとそれからオプションという二つの言葉が出てくるわけなんですけれども、 |
| 1:57:36 | そういうもので結論のところ、近傍流所だけが書かれているっていうのは、 |
| 1:57:43 | これは、 |
| 1:57:44 | その理由をちょっと教えてもらっていいですか。 |

| | |
|---------|---|
| 1:57:47 | はい。 |
| 1:58:00 | 3、310 ページですね、ページ、 |
| 1:58:22 | 北海道電力の渡辺です。すいません 352 ページ、これまでのヒアリングを踏まえて文献に記載されているような状況があるかないかといったところを明確にするといったところが一つポイントかなと思ひまして、 |
| 1:58:38 | レビューした文献の中で明確に構造的に記載されているものが放流ションでありましたことからこれに間特化した期待としてございますけども、これプラス相の可能性は考えられるといったものではございませんで、まず堆積構造にられがそちら限りはないので、インボイスもそういうアクションもないとか、 |
| 1:58:58 | いるんですけども、文献に対して同じものがあるかないかという観点でサポートしたときに、具体的に示されてるものが、 |
| 1:59:06 | いやだったもんですから、このような書き方にいたしました。 |
| 1:59:17 | いればいけない。 |
| 1:59:18 | はい。 |
| 1:59:22 | はい。規制庁です。ここに 352 ページを相双の観点で保留書しか記載をしてないんですけどそういうアクションはなんていう評価をしているっていうことで、 |
| 1:59:33 | 今御説明いいですか。 |
| 1:59:35 | 北海道電力の渡辺です。はいそうそう確認の中ではそういった周氷河作用構造を乱すといったような特徴が今回の観察では認められないので、いずれもないというふうに考えております。 |
| 1:59:50 | はい今回確認しました。 |
| 2:00:05 | 規制庁ため、すごく |
| 2:00:07 | ちょっとですね、資料からちょっと離れた話になるんですけど。 |
| 2:00:11 | ほぼ |
| 2:00:14 | これはもう |
| 2:00:16 | 評価してる中で、 |
| 2:00:18 | 何ていうんですかね。こっち層成り立ちのストーリーというような点で考えると、北側ですね、開削調査箇所河成の堆積物、これも前中茶津側から供給されてるんだとかそういった話もされていたと思うんですけどそれを変わってないっていうことでいいですか。 |
| 2:00:40 | 北海道電力の渡辺です。はい、当該dF系のユニットについては様々な苦境を考えていきますと川の堆積物であろうと考えてございます。供給減と考えていきますと、やはり最も近接している河川である茶津川由来と考えるのが、 |
| 2:00:58 | 妥当なんじゃないかというふうに考えていることは変わっていません。 |

| | |
|---------|---|
| 2:01:02 | はい、手塚です。今回変わってないということで、あとはですね新しくなんか繊維部っていうのを、 |
| 2:01:10 | こうPS3で認めてるんですけど。 |
| 2:01:13 | 結局PS3っていうのも、 |
| 2:01:16 | どうなってるんできてるのかっていうのは、これは資料と書かれてるんですけど、決算がどういうふうにできるわけですかって言うんですが、汗CSR生育です生育が |
| 2:01:32 | 出来上がったかっていうことです。 |
| 2:01:39 | 北海道電力の渡辺です。資料上成因メーカーに形成メカニズムについては具体的に記載している部分は公開資料上はございません。考え方といたしましては、斜面堆積物がM1回生堆積物を侵食して、 |
| 2:01:54 | くる際に、下位の堆積物を巻き込んだ取り込んだ混合層のようなものじゃないかというふうに考えてはございます。 |
| 2:02:07 | はい。規制庁思ったんです。 |
| 2:02:10 | だからそういったことがtsrがKの方がちょっと聞いたかったのはTs三角形その混合槽みたいなことができてるっていうふうなことについて何かお考えがあるんだったら確認したいんですけど、ほかのPS1とかTS1は、 |
| 2:02:26 | ない中で、PS3にだけできるっていう何か理由があればですね。 |
| 2:02:32 | 北海道電力のワタナベ留守炎上におきましてはPS2ユニットの規定の中には、PSさんと同じように、例えばシルトがパッチ状に入るですとか、中流から再流水部店中流さから採算がパッチ状に入る。 |
| 2:02:49 | 治療等の履歴が入るといったような特徴はないんですけども、規定に目をやっていますと、シルトまじりの砂の基質主体の相当は局所的に認められているというところから抗議の意味での今後をセーブをあるんじゃないかと。 |
| 2:03:04 | いうふうに考えてございます。 |
| 2:03:06 | ただ、PSさんと全く同様かと言われとうそうになっていないので、表記上同じかとは書いてございません。 |
| 2:03:13 | ITS1のほうは歴が多いといったところであまり明確に西武メーカーものは見てとれないんですけども、重さとしては、斜面堆積物の規模に由来する部分もあるんじゃないかかと思っております。 |
| 2:03:27 | 先ほど申しあげました通りTs湾がほかのものと比較すると規模の小さい斜面堆積物になりますので、削り込んで積極的に削り込むというよりも上から落ちてきた、これが堆積したというような規模の違いが影響してる可能性はあるんじゃないかと考えております。 |
| 2:03:46 | 施設の管理ですが、お考えを聞きました。 |
| 2:03:55 | 書いてないです。 |

| | |
|---------|--|
| 2:04:03 | アクセプトタニです。先ほど渡辺さんが説明されたPSAの内容、今の資料の中で見せる国庫の辺りを見たらこういうことが入れますという御指摘し写真とかがついているところがありますか。 |
| 2:04:20 | 。 |
| 2:04:31 | 北海道電力の渡辺です。 |
| 2:04:34 | はぎとり転社資料になるんですけども、78 ページ、79 ページのほうお願いしてよろしいでしょうか。 |
| 2:04:48 | こちらのはぎとり電車資料左側にございますけども基底付近にシルトまじり砂と記載してございまして、上の箱書きの中の最後の丸ですけども、なお、ES2 ユニット底部のそうそうは終了とまじり砂となりますが、 |
| 2:05:03 | あっち量の滞留中流さしているとの履歴がないことから、PFIに渡島は全く同様な特徴優遇する制度としては確認されないというような記載をしております。 |
| 2:05:22 | どうぞ。 |
| 2:05:23 | 補足。 |
| 2:05:36 | どうぞ。 |
| 2:05:38 | カイダです。今の 78 ページのところの解釈について、ちょっとこれも資料の確認をしたいんですが、今 |
| 2:05:51 | BSというの規定のは何センチのところ所巻き数というのがあるということで、 |
| 2:05:58 | ちょっとこちら深層イメージするものであるかという。 |
| 2:06:02 | 今後説明だったと思うんですけども、そもそもこの技術の奇形の線を劇相の下部ではなくて、このシュートとか砂の中に書かれたってというのは、 |
| 2:06:18 | ここに特徴的な 1000 億、今回、 |
| 2:06:21 | はい。 |
| 2:06:24 | 教えてください。 |
| 2:06:42 | はい、北海道電力の渡辺です。この辺りのユニット区分に関しましては、M1 ユニットの特征として、淘汰の良い砂であるということが挙げられてございます。これは普遍的に他の場所でも認められるものになります。 |
| 2:06:56 | これに対しまして心のいやしている、シルトまじり砂と書いてある部分につきましては、シルトが含まれてくるといったところでM1 都と相当が分かると高いといひまして、今PS2 ユニットの中に組み込んでございます。 |
| 2:07:14 | はい、考えがありました。 |
| 2:07:38 | まず、 |
| 2:07:42 | 30 ページ。 |
| 2:07:44 | 実は、 |

| | |
|---------|--|
| 2:07:46 | 今回、 |
| 2:07:49 | これ、だから、全体の |
| 2:07:54 | はい。 |
| 2:07:58 | 規制庁タニです。 |
| 2:08:00 | 171 ページで、 |
| 2:08:03 | もっと測定結果はまとめというふうに関書いてるんですけど、これ手当なんか新しく硬度測定を当初断層の直上でやったっていうデータは今入ってないんです。 |
| 2:08:18 | 北海道電力のワタナベですから、170、171 ページは枠組みとして、2-2-2 ということで、枠組みが開削調査南側南側壁面の配合の二名。 |
| 2:08:31 | に関して整理したものとなってございまして、前回のヒアリングから今回のヒアリングまでの間に追加したデータというのが、南側壁面ということで扱いを別として、東海課長には記載してございません。その代わり 232 ページに行った際に、 |
| 2:08:51 | 132 ページが 2-2-3 で南側壁面の連続性南側に続くということを確認した上で、南側で再度オート測定を実施した結果を共同説明示した表とはまた別枠で 232 ページでいくと真ん中に |
| 2:09:08 | バックという形で示して、その比較をするという形で今資料をつくっております。 |
| 2:09:18 | 改善部の目から評価なるないってことですね、グラフだとかっていうのを、それっていうのはここなぜいけないんですか。 |
| 2:09:28 | 現状はございませんけれど特に入れないとだめた困るということはないで最終的に一括して整理して、どこかの場面でお示することも可能だと思ってるんですけども、今はそれぞれの章の中であるべき姿で入れているという状況になってます最終的な総合アウトプット結果として一括通りするということは起こら問題はございません。 |
| 2:09:51 | はい。 |
| 2:09:56 | そうなものを最終的にそう説明された中で同じものだってしてるんだったら、やっぱり今、もう一つ同じ |
| 2:10:05 | 全部のデータですね、資料もいただきたいと思っていますけど、よろしいでしょうか。 |
| 2:10:12 | はい、承知いたしました。 |
| 2:10:15 | 明らかにそのお願いします。 |
| 2:10:19 | ないですか。 |
| 2:10:21 | はい。 |
| 2:10:27 | すみません。 |

| | |
|---------|--|
| 2:10:36 | 規制庁開発へこちらからも質疑としては以上なんですけど、事業者さん。 |
| 2:10:42 | 確認としては以上なんですけど。 |
| 2:10:45 | 何かありますか。 |
| 2:10:59 | 北海道電力の泉でございます。特に追加でどこから確認したいことはございません。 |
| 2:11:09 | はい規制庁谷です。それではのヒアリングをこれで終わりたいと思います。 |
| 2:11:16 | お疲れ様でした。 |